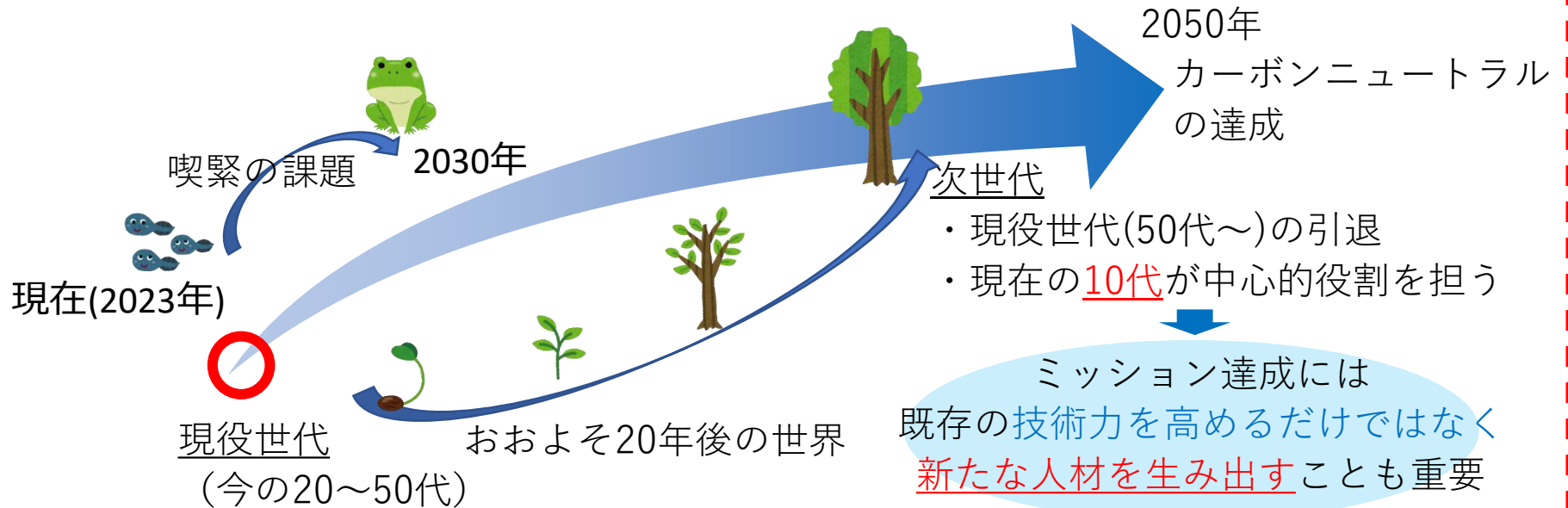


# 中学・高校生を対象とした環境教育 (カーボンニュートラル学習) の実施報告

2024年8月19日

中部経済連合会 価値創造本部 社会実装推進部  
(エネルギー・環境委員会 事務局)

## ミッション(CN)を達成する人材



### 課題

10代(中学生・高校生)はカーボンニュートラルの取組を知る機会が少ない  
⇒ まずは世界情勢や国内の取組を広く「知ってもらう」ことが最重要

カーボンニュートラルの次世代を担う人材を創出できるよう  
早急に取り組む必要がある

## 実施先詳細

- ・実施希望日時 2024年7月11日 11:50~12:40 (4限目)
- ・実施先 学校法人暁学園 暁中学校・高等学校 (三重県四日市市萱生町238)
- ・対象学年 中学2年生全員 (82人 (20~30人/1クラスの3クラス編成))

## 学校側のニーズ・要望

- ・カーボンニュートラルとはなにか、なぜ必要なのか教えて欲しい
- ・地元企業のカーボンニュートラルの取り組みを教えて欲しい
- …四日市市に拠点を置く **中部コールセンター株式会社様**に講師を引き受けていただいた



## 講義内容の概要

- ・カーボンニュートラル (CN)とはなにか
- ・温室効果ガスを削減する方法
- ・企業の取組の紹介
- ・四日市コンビナート/四日市港におけるCNの取り組み
- ・CNに向けて私たちができること

## 参考 参加者の反応

(学生：学校側が用意した感想文、先生：口頭聞き取り)

- ・CNという言葉が今回初めて聞いた
- ・なぜCN必要なのか知らなかったので、講義を聞いて理解することができた
- ・テレビ、CMなどで企業がCNとよく言っているが、わからなかったので今回理解できてよかった
- ・二酸化炭素の排出は0にできず、吸収も必要であることを知った
- ・私たちが知らないところで企業がCNに取り組んでいることを知った
- ・私たちも省エネを心掛けることが必要
- ・二酸化炭素を中心にお話いただいたが、窒化物の影響について知りたかった (理科先生)
- ・企業の取組を知る機会がないため大変有意義な時間であった (理科先生)
- ・はじめは学生に対して講義の内容が難しく沈黙するかと思っていたが、積極的に講師に質問するなど想定以上の学生の反応を見ることができた (理科先生)

## 評価と今後の予定

- ・学生の感想では「CNという言葉は聞いたことがあるが、どういうことなのか知らなかった」というコメントが多く、講義を実施したことで**CNの必要性を理解**していただけた
- ・企業の取組にも共感していただき、**企業活動のPR**にもつながった  
⇒ 次世代へのCNに関する理解を深める目的を果たせたことから  
**中部圏エリアを対象に継続して環境教育を実施**していく

